
純愛 ～ありがとう～

葉月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

純愛 ～ありがとう～

【Nコード】

N7447Z

【作者名】

葉月

【あらすじ】

突然お兄ちゃんができちゃったおんなのこのはなしです

家に美形がやってきた

もし、突然兄ができたらあなたはどうしますか…？
しかもそれがあからさまにもてそうなイケメンだったりしたら！！
普通の女子中学生としてはどうしたらいいんですかあつ。

時は数時間前にさかのぼります。

いつも通り学校から帰ってきてドアをあけるとお母さんと若い男
の声…。

「ほんと、唯くんはかわいいわねえ」

「いえ、そんな…ほんとありがとうございます。お母さん」

お母さんつつ！？なんで！？どうして！？どうしたの！？

おそろおそろリビングにいくと サラサラの髪に切れ長の目

やさしそうな笑顔のあたしの学校の高等部の制服をきた美少年がお
りました

「ちよっとお母さん！？どういうことよ、これは！」

「あらあ、おかえり、愛莉。今日からうちの息子になった、唯く
んよ」

！！

美形の事情（前書き）

なんかありがちな感じですね…

美形の事情

「はじめまして愛莉ちゃん。今日から山本家にお世話になる山本唯です」

「は…はじめまして。山本愛莉、城門学園中等部2年1組41番です」

「愛莉、お父さんの親友の息子さんよ。この間の地震で観光に行っていたご両親が…」

「お母さん、重い話は置いて…。オレ、この明日から城門高校の高等部に転校するんだ。よろしく　　なんで、愛莉ちゃんが泣くんだ……」

「ごめんなさい…明日からよろしくお願いしますっ」

逃げちゃった…自分の部屋に…だって、悲しすぎる

『コンコン』

ノックと同時に唯さんが入ってきた

「愛莉ちゃん、オレはね、親父とお袋が死んですごく悲しかったよ。でも、二人は一緒に死ねたんだ。せめてバラバラじゃなくてよかったと思ってる…だから、泣かないで」

「…はい」

「それで、オレ高等部1年1組なんだけど担任ってどういうひと？」

「松本先生…40歳くらいの男の先生で、社会の先生。太ってるけど、話はおもしろいです」

「そうか…。結婚してる？」

「してない、うえにはげてます」

「アラフォーで未婚で太ってて、はげ？残念な感じだなー」

「アハハ、そうですねー。松本先生はおもしろいですけど、学年主任の二階堂先生はこわいです。」

「もしかして、数学？」

「国語です」

「残念、はずれたか。じゃあ、夕食を食べに行こう。今日はカレ
ーだって」

唯さんが出ていくと部屋が少し暗くなった感じがする。明日、あ
んなかつこいい人が転校してきたら話題になるだろうな…

噂の美形の騒ぎ（前書き）

こんばんは！いまサブタイトルの付け方になやんでいます。なので
サブタイトルがめっちゃくちゃです…

噂の美形の騒ぎ

「愛莉ー！！今日一緒に登校してきた人だれよ？すごいかっこよかったですね！？」

「そーそうー！！すごく目立ってた」

朝、教室に入ると案の定にクラスの子に質問攻めにされた。

「お兄ちゃん。きのうできたの」

「！？」

さらっと爆弾発言を試してみた。みんな一瞬固まったけど次の瞬間

「えー？なにそれ！？」

「いいなーかっこいいお兄ちゃん」

「紹介してよー！」

「えーと…そろそろ来ると思うよ？ホールーム前に学校案内するっていったし」

タイミング良くドアが開いて

「愛莉ちゃんー！！」

「唯さん。クラスの子たちが　　って、え！？」

「「「「きゃーー！！！！！！」」」」

やっぱり、唯さんはすごいなー。

「身長何センチですか？」

「体重は？スリーサイズも！？」

「写真撮っていいですか？」

なんか、すごい騒ぎに……案内はできないかな…

『キーンコーンコーンコーン』

予鈴だ。

「というわけで、愛莉ちゃんせっかく約束したのにごめん。またね！」

唯さんは嵐のように去っていきました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7447z/>

純愛 ～ありがとう～

2012年1月5日23時46分発行